

第11回

地域活性化フォーラム

I. オープニングセレモニー 15:00~15:15

II. 研究発表

15:15~

岡崎の特産物を活用した 家康弁当の開発

郷土の名将徳川家康。彼は戦国時代において75歳という天寿を全うし健康長寿を先取りした。日ごろの徹底した健康管理と麦飯に象徴される素食がその要因ではなかろうか。水泳や鷹狩で心身を鍛えあげ、旬の食材を中心に「一汁一菜」を基本とした食生活が勝ち残るためのパワーと魂をもたらしたのである。今回、彼の日常食や戦陣食を再現しその特徴を考察する。また、会場では徳川家ゆかりの幻の兵糧丸の試食を予定している。



愛知学泉短期大学
根間健吉 准教授
(専門:公衆栄養学)

III. 交流会 17:30~18:00

15:40~

観光都市・岡崎への提言

岡崎市には平成18年に策定された「岡崎市観光基本計画」があります。その基本計画策定と同じ平成18年から、通信教育の学生と一緒に研究を始めた「愛知・三河学」(毎年10月中旬開講。県外の社会人が多く参加、のべ100名程参加。)の過去5年間の学修成果、及び今回新たに実施した「観光意識調査」を基に、私自身が岡崎市内を歩き、観光し、案内する中で感じたことを交えながら、「観光都市・岡崎への提言」を発表します。



愛知産業大学
吉田 修 教授
(専門:哲学)

16:10~

地域活性化活動となる コミュニティシンクタンクの実践的研究

コミュニティシンクタンクとは、地域の活性化が重要な課題となる地方自治の時代において、市民自ら考え、行動することによって地域の課題を解決し、政策形成力を構築しようとする市民組織である。

本研究はコミュニティシンクタンクを岡崎市において具体的に企画運営し、実践しているプロセスを段階的に考察し、まちづくりの実践への道筋を描きつつ、地域を活性化させる重要な要因を研究するものである。



人間環境大学
島崎義治 教授
(専門:建築設計、建築論)

16:35~

名古屋の大学生からみた 岡崎市のイメージ

名古屋市やその近隣の大学に通学している学生は岡崎市にどのようなイメージを抱いているのでしょうか。また岡崎市の魅力を向上させるためにはいかなる工夫が必要となるのでしょうか。

本発表では、名古屋地区の大学生を対象として行った調査の結果を報告します。岡崎市の訪問頻度と訪問目的、名古屋市との比較における岡崎市の特徴、岡崎市に対する心理的距離について分析し、若者にとって魅力的な街づくりについて考えていきます。



人間環境大学
芳賀康朗 教授
(専門:心理学)

17:00~

岡崎の伝統文化を活用した 身体表現に関する研究

地域伝統芸能の中でも“踊る”という行為は人々の生活に深く根つき、交流や郷土愛を育む手段として継承されてきた。近年「日本どまんなか祭り」など若者によるダンスを用いた文化交流が活発に行なわれ、身体表現の持つ伝達力が注目されつつある。本研究では、学生による岡崎伝統文化をテーマとした舞踊作品の創作を試み、その過程(調査、創作、上演、交流)における地域活性化に対する有効性を検証し、新しい地域広報ツールとしての可能性を探る。



岡崎女子短期大学
山田悠莉 助教
(専門:身体表現)

入場
無料

『地域資源・観光資源を活かした
まちづくりに関する研究』

大学の知的資産を活かして地域を元気に!!

日時 平成23年

2月22日 火

15時~18時

会場 岡崎商工会議所
中ホール(2階)

主催 岡崎大学懇話会 NPO法人21世紀を創る会・みかわ 岡崎商工会議所

※駐車スペースは限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

お申込み 岡崎大学懇話会事務局(岡崎商工会議所内:青山・高木) TEL 0564-53-6190